

(香川版)

測量の日推進協

長谷川教授招き講演会

「測量の日」四国地区推進協議会は、香川大学の長谷川修一特任教授・名誉教授と国土交通省四国地方整備局企画部の濱田尚啓建設情報・施工高度化技術調整官を講師に招き、高松市で記念講演会を開いた。写真。測量会社などから約50人が受講した。

長谷川氏は「南海トラ

フ地震後の復旧・復興を今から考えよう」と題



し講演。西日本豪雨時に高知自動車道の立川橋が崩落した際、近くに工事現場があったために早期復旧ができた事例を挙げ、「四国の津々浦々に建設工事現場があれば、早期の道路啓開と復旧が可能になる」と

述べ「建設業と観光が四国を救う」と力説した。

濱田氏は、四国地方整備局が取り組んでいるインフラDXについて説明。推進ロードマップを示しながら代表的な事例を紹介した。